

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 林 宏 一 郎  
 学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1  
 電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校評議員の会（第2回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

評議員	安 藤 裕 美	土岐地区更生保護女性会理事
	犬 塚 和 代	元土岐商業高校育友会役員
	竹 下 啓 太	名古屋工学院専門学校メディア学部部長
	中 村 達 男	東海旅客鉄道（株） 土岐市駅長
	山 野 日 出 光	土岐市土岐口財産区議長

学校側	校 長	林 宏 一 郎
	教 頭	花 田 耕 司
	事 務 長	中 野 善 孝
	教 務 主 任	林 勇 二
	生徒指導主事	澤 野 敏 勝
	進路指導主事	水 野 智 恵 美
	（ 記 録 ）	野 村 茉 椰

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成28年1月19日(火) 13:30 ～ 14:30

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員5名 学校側7名 計12名が参加

\*学校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

## 5 会議の概要

### テーマ（1）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

#### （1）教務部

##### （ア）「授業力」向上を目指して

①授業力・授業の質向上のため、各教員が自己診断シートを記入し、昨年度と比較することで本校の課題を明らかにした。それを踏まえ、下のようなテーマを設け、授業改善を行った。

1 生徒の主体的な活動場面を確保し評価を行う。

→ ペア学習やグループ学習を行い、生徒が生徒に教えるような授業も見られた。

2 教材・教具を効果的に活用する。

→ 英語科を中心にパソコン・プロジェクターなどを教具として使用する授業も見られるようになった。

②基礎的・基本的な学力を定着させるため、適度な宿題を課した。その成果として前期は成績不良の生徒は少なかったが、中だるみなのか、後期中間は成績不良者が増えてしまった。次回の学年末に向けてさらに指導していく必要がある。

##### （イ）積極的な広報活動の展開

①合計22校の中学校で積極的に高校説明会を行った。中学校の保護者が施設見学、授業参観に8校が参加した。

②8月4日、5日に中学生一日体験入学を行った。昨年度までは教員が授業を行っていたが、今年度は生徒が授業を行うという形式で行った。土岐商業高校の良さを伝えられたのではないかと考えている。

##### （ウ）商業科の活動

①「土岐商 SHOP」「出前授業」「TiS」など生徒が主体的に動く活動を取り入れている。これは生徒自身が自分で行った成果を目で見ることができる活動であり、生徒の自信につながっていると考えている。

#### （2）生徒指導部

##### （ア）交通事故の現状について

夏休み、もしくは夏休み前後に件数が増えた。また1年生の事故件数が圧倒的に多く、免許制にすることを検討した。しかし課題が多いため、先輩から話を聞き危険予測について話し合える縦割り LHR を検討したいと考えている。

##### （イ）遅刻について

大幅に減少している。その理由としては進路決定後の3年生の遅刻数が増えなかったことが考えられる。

##### （ウ）問題行動の現状について

情報モラルに関しては「スマートフォン・携帯電話持込許可書」を提出させ、使用上のル

ールについて親子で話し合う機会を設けた。その成果として情報モラルに関する特別指導は昨年度7件であったが、今年度は2件に減少している。

(エ) MSリーダーズについて

1月までに24件の活動に参加した。MSリーダーズを通して、多くのボランティア活動に参加しているが、昨年度の外部評価から本校のボランティア活動があまり評価されていないことが分かった。もっと活動を保護者などにPRしていく必要があると感じている。

(3) 進路指導部

(ア) 今年度の就職者内定企業等

① 81名の内定をいただくことができた。

② 公務員に4名合格することができた。全員、事務職であり、高い倍率の中を乗り切って内定をつかみ取ってきてくれたと考えている。

(イ) 今年度の進学者合格状況

① 116名が合格している。

② 一般入試で3名受験予定である。

③ AO入試や指定校推薦などが増えている。挑戦しようとする生徒が減ってきていると感じている。

(ウ) 次年度の課題

① 求人が好調であったため、危機感がなく準備が十分とは言えなかった。内定後のサポートの必要性を感じている。

② 大学入試において英語力をつけることが必要である。

③ 安易に指定校推薦に流れている。高い目標を持って挑戦するよう助言していきたい。

テーマ(2)：意見交換・質疑応答
------------------

意見1：TiSの詳細が知りたい。

回答1：以前まで「とっきいの里」というネットショップを運営してきた。しかし楽天などの大手がある中でなかなか太刀打ちできず、3年前からその打開策を考えてきた。サーバーを借りるのに費用がかかっていたため、その問題を解決する必要があった。また情報が集める際にパソコンを使用する人は減少しているため、スマートフォンで見られるサイトを作ることを考えてきた。それらが様々な方の協力により解決し、TiSの開設が実現できた。今後はお店のHPへのリンクを作り、そこからものが買えるようにしたり、地域の情報等も発信したりしていけたらと考えている。それをきっかけに土岐市に興味を持ってもらい、地域貢献につなげていきたい。

意見2：今年の3年生に中退者がいないというのはすごいことだと思う。

意見3：遅刻数がこれだけ減っているのはすごい。これが進路実現にもつながっているのではないかな。これからも指導を続けてほしい。

意見 4 : 男女比は年々変化しているのか。

回答 2 : 1 年生は男子の比率が確かに多いが、定員割れの影響であると考えている。

意見 5 : 先輩が様々な場所で活躍している。身近な目標として生徒に示していけば、土岐商生としての自信につながるのではないか。

回答 3 : 「Sign Post」という冊子を配り、校内では一学級に一冊ずつ、校外の中学校にも配布している。一度見てもらいたい。

意見 6 : 就職では元気が一番大事である。TiS の活動は生徒の主体的に動く力をつけられる活動だと思う。

意見 7 : 外部評価で保護者が回答しているが、近年の親は関心が低いため、低い評価になりがちである。そのような中でこのような高い評価を得られるということは保護者との関係ができている証拠であると思う。

意見 8 : 卒業生が企業でよく活躍してくれている。それを企業が認めており、それで在校生の進路が助けられているということをもっと在校生にも実感してほしい。

意見 9 : 岐阜県は生徒数が減っており、学校を減らすという話を聞いた。廃校についてはどうなのか。

回答 4 : 確かにそのような話はあったが、今は学校活性化プランに切り替えられた。地域に大切にされている学校であれば、県も廃校にするようなことはない。以前からも意識してきた地域とのつながりを大切にしていきたいと考えている。

意見 10 : 様々なことが着実に成果としてあがっている。成果と課題を明確にし、それを生徒に明示するということが学校だけでなく、社会でも重要になってくる。これまでそれを土岐商は確実にやってきたから、今も伸びているんだと思う。土岐商を誇りに思っている。